

時の話題

がんの話題(1)

— もう、お歳ですから —

医療法人 幸良会 シーピーシークリニック
武 元 良 整

「もう、お歳ですから」と言わなくてもがんの話題では、つい、口にしてしまう言葉のひとつです。高齢化でがん症例が増えるのは事実ですが、治せる「がん」が増えてきているのも事実です。たとえば、高齢化で増加する前立腺がんは早期発見のためにPSA検査(Prostate specific antigen)が勧められています。早期で発見・治療すると高率に治癒します。前立腺がん310例に対する重粒子線による治療成績は5年生存率が約90%と報告されました(平成18年2月10日、第34回鹿児島放射線治療研究会、放射線医学総合研究所・重粒子医科学センター長、辻井博彦先生講演から)。つまり、がんの種類によっては最新の技術で「お歳ですから」と言わないで、治せるようになりました。

「がん年齢」から見た統計—罹患率

図1の2001年の厚労省の統計では悪性リンパ腫の年齢別の発病罹患例は人口10万当たり40歳代5人、50歳代10人、60歳代20人、70歳代36人、80歳代では52人と増加しています。多発性骨髄腫でも同じ傾向です。以上のように、血液領域でも、高齢化によりがん罹患率が上昇することは明らかです。

「がん」の年齢階級別死亡率

がんは昭和56年(1981年)から死亡率の第

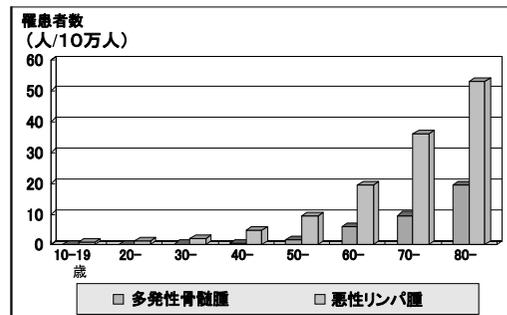


図1. がん統計2001年

1位となり、平成16年(2004年)はがんによる死亡者総数は32万315人、人口10万人対の死亡率は253.9人、総死亡の31.9%となっています。表1には5歳毎の年齢別のがん死亡率比率を示します。男性は65歳から69歳でがん死亡率がピークに達し、2人に1人ががんによる死亡です。女性はピークが早く、45歳から同様に、2人に1人ががんで亡くなっています。(http://www.ncc.go.jp/jp/statistics/2005)。全体で見ますと、がんは40歳から89歳までの死亡順位

表1. 年齢階級別がん死亡率

年齢階級(歳)	男性(%)	女性(%)
45-49	26	53
50-54	33	55
55-59	40	53
60-64	45	50
65-69	48	47
70-74	45	39

2003年、厚労省統計改変

時の話題

の第1位です。男性は肺がん、女性では大腸がんが最多です。

「死亡原因」中国からの報告

お隣の中国の統計が最近報告されました。1999年から2000年の集計です。対象は中国全土から均等に選ばれた40歳以上の16万9871人です。すべての原因による死亡率は人口10万人あたり男性では1480人、女性は1190人です。全体では1345人(文献1のTable 2)、その死亡原因の順位(総死亡に対する比率%)は1.心疾患296.3人(22.5%)、2.悪性新生物293.3人(22.3%)、3.脳血管障害276.9人(21.3%)、4.肺炎とインフルエンザ43.9人(3.2%)そして5.感染症による死亡43.2人(3.1%)です。がんによる死亡は僅かの差で第2位です。ほとんど、上位3つの死亡原因は拮抗しています。

表2には、日本との比較を示します。中国では心疾患と脳血管障害の死亡が多く、そのためには①血圧のコントロール②禁煙③体を動かす事そして④栄養の改善が必要と結論づけています(文献1)

表2. 主要死因の比較(人口10万人対)

2000年 日本	主要死因	2000年 中国
①235.2	悪性新生物	②293.3
②116.8	心疾患	①296.3
③105.5	脳血管障害	③276.9
④69.2 (人)	肺炎	④43.9 (人)

①~④は死亡原因の順位

「がん」配偶者の入院後の死亡率

よく、配偶者が病気で入院するとそのパートナーが倒れると言われています。文献2はその話題です。65歳以上の51万8240組

の夫婦を対象に9年間追跡調査しました。夫の38万3480人(74%)、妻の34万7269人が入院しました(67%)。そして、夫の25万2557人(49%)、妻の15万6004人(30%)が死亡。その死亡率は配偶者の病名に影響されるのでしょうか? 配偶者の入院から1年以内の死亡率を表3に示します(文献2、Table1から改変)。妻が痴呆で入院した時、夫は8.6%と最も高い死亡率です。一方、夫が痴呆のため入院すると、妻の死亡率は5%です。

「がん」配偶者の場合はどうでしょうか? 配偶者が白血病・リンパ腫の時に夫の死亡率7.5%、妻の死亡率は3.4%です。妻の死亡率の第1位は膵臓がんの3.5%です。以上から、パートナーの死亡率が高いのは配偶者の入院となる病気では痴呆が第1位、そして、がんの中では白血病・リンパ腫が高い死亡率でした。表3はそのランキングです。この統計が今後の患者家族へのケアそして高齢化社会の政策に反映されることを期待します。

表3. 死亡率と配偶者の病名

妻の死亡率	配偶者の病名	夫の死亡率
5.0%	痴呆	8.6%
5.1%	骨折	8.6%
5.7%	精神病	7.5%
4.3%	心不全	7.5%
3.4%	白血病・リンパ腫	7.5%

(文献2、Table 1改変)

文献

1. He J et al. Major causes of death among men and women in China. N Engl J Med 2005;353:1124-34.
2. Christakis NA et al. Mortality after the hospitalization of a spouse. N Engl J Med 2006;354:719-30